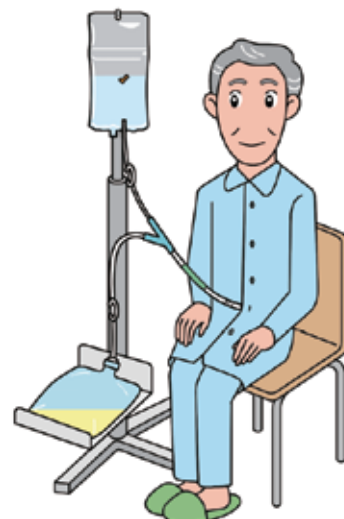


テルモ腹膜透析システムを使用されている方へ



テルモ腹膜透析システム

むきんイージー

操作手順 簡易版

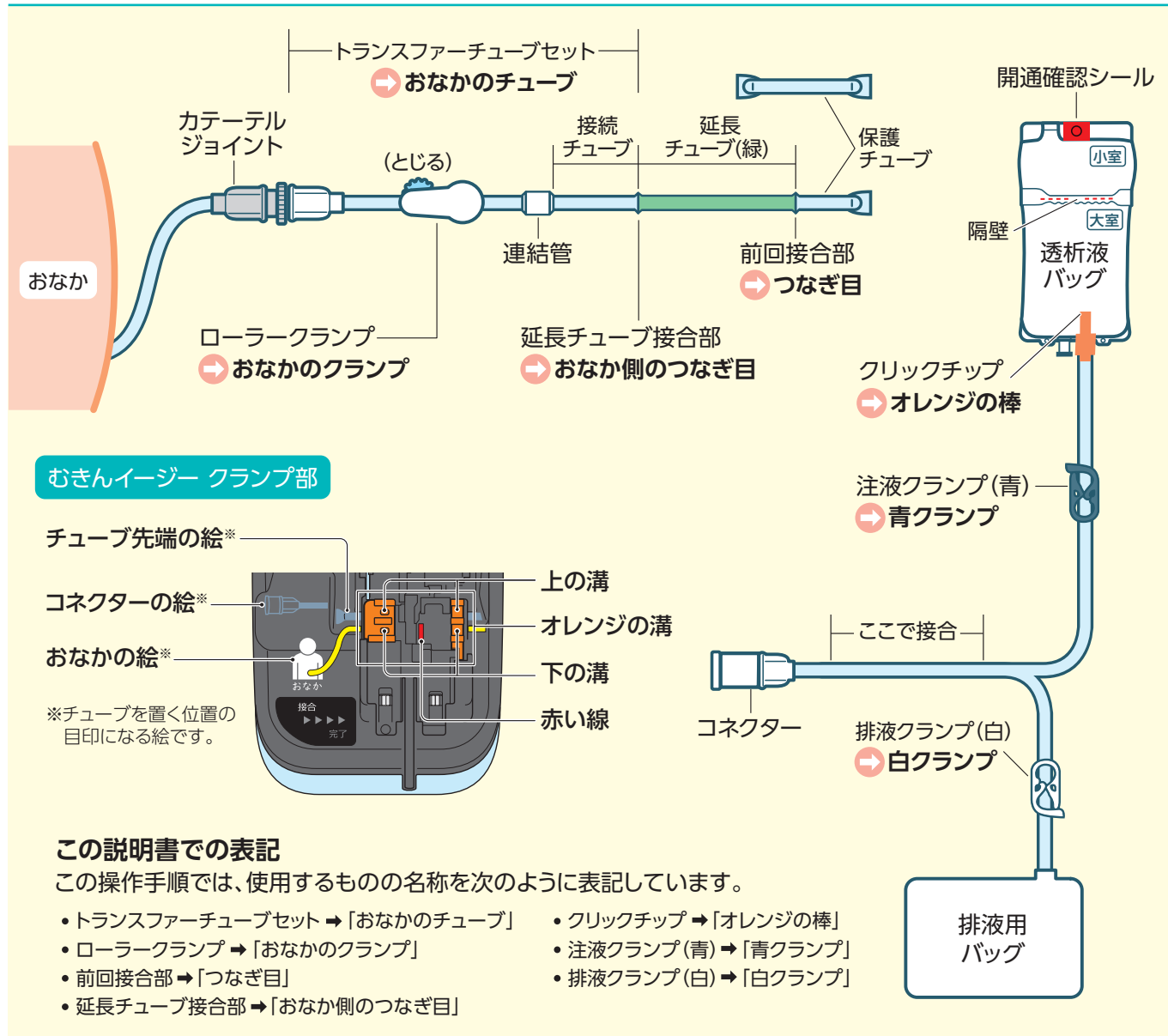


医療機関の指導のもと、正しく使用してください。
注意事項等の詳細は、事前に取り扱説明書でご確認ください。

● 必要物品

- ① むきんイージー、専用充電器
- ② 保護チューブ、ウェハーカセット(むきんイージーに挿入しておく)、延長チューブ(週に1回程度使用)
- ③ 透析液バッグ… 排液用バッグ付の腹膜透析液
- ④ はかり、下敷き… 排液確認用
- ⑤ 記録ノート、ペン、時計
- ⑥ スタンドまたはS字フック… 透析液を吊るす
- ⑦ ウェハートレイ
- [⑧ プラスチッククランプ(緑)… 操作中止時用]

● 各部の名称



● おなかのチューブの取扱い上の注意

- チューブの束ねにテープを使わないでください。テープの粘着物を付着させないでください。(取扱説明書の22ページ参照)
- 皮膚保護剤、保湿剤、ハンドクリーム、整髪料などをチューブ表面に付着させないでください。

● 透析液バッグの取扱い上の注意

- バッグは柔らかいプラスチック製です。液もれの原因になるので、鋭利なものなどで傷つけないでください。また、冬場のような低温下では、バッグが破損しやすくなるので注意してください。
- 強い衝撃を加えて隔壁を開通させると、バッグが破損する場合があるため、取扱いに注意してください。

毎回必ず実施：操作前に必ず環境整備を行い、必要物品を準備する。

準備

- 1 手洗い後、保護チューブを準備する。



- 2 使用する透析液バッグを確認し、袋から取り出す。



- 3 青クランプ、白クランプをとじる。透析液バッグを確認後、隔壁を開通し、よく混ぜる。



注意 以下の透析液バッグは使用しない。
- 液もれ、にごり、異物がある。
- 開通操作前に、すでに隔壁が開通していた。
- キャップがはずれた。

- 4 おなかのチューブを取り出し、おなかのクランプがとじていることを確認する。



警告 必ずおなかのクランプをとじる。(接合不良が発生した場合、腹膜炎になる可能性がある。)

バッグをつなぐ

- 1 むきんイーザーの電源を入れ、カバーをあける。

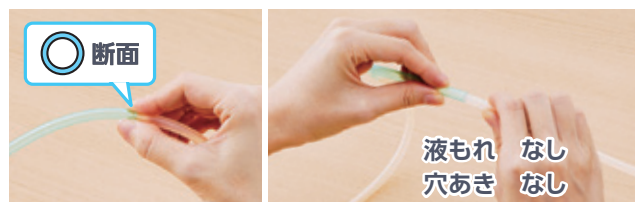
- 2 おなかのチューブのつなぎ目を下の溝の赤い線にあわせて入れる。絵にあわせて透析液バッグのチューブを上の方の溝に入れる。



- 3 オレンジの溝(4か所)にチューブをしっかりと押し込む。カバーを一度に下ろし、「カチッ」ととじる(自動的に接合開始)。



- 4 接合が完了したらカバーをあげ、チューブを取り出し、引きはなす。つなぎ目を開通し、液もれがないことを確認する。



- 5 透析液バッグのオレンジの棒を折り、バッグ内に浮いていることを確認する。

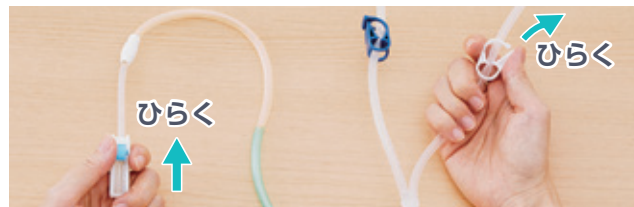


- 6 透析液バッグを吊るし、排液用バッグをおなかより低い位置に置く。

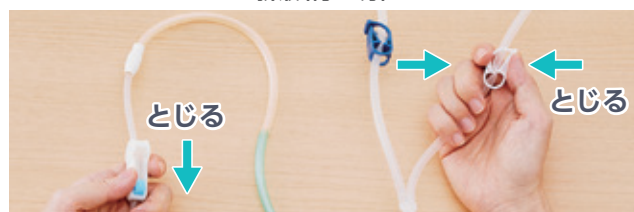
注意 開通確認シールをはがす際、小室(上側)に液が残っていない(隔壁が開通している)ことを確認する。

排液…プライミング…注液

- 1** おなかのクランプと白クランプをひらき、排液を始める。排液が終了したら、おなかのクランプと白クランプをとじる。



排液(約15分)



- 2** 青クランプをひらく。白クランプをひらき、3つ数えてからとじる(プライミング)。



- 3** おなかのクランプをひらき、注液を始める。注液が終了したら、おなかのクランプと青クランプをとじる。



注液(約10分)



禁忌・禁止 排液・注液中につなぎ目からの液もれや穴あきに気づいた場合は、通液しないで、ただちにかかりつけの医療機関に連絡する。

警告 注液終了後、必ずおなかのクランプをとじる。(接合不良が発生した場合、腹膜炎になる可能性がある。)

バッグをはずす

- 1** むきんイージーの電源を入れ、カバーをあける。

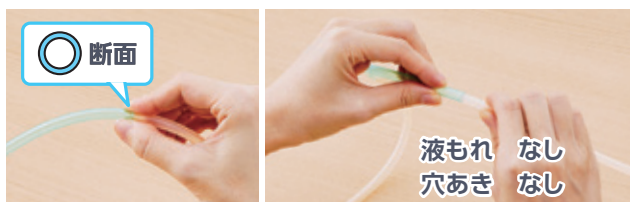
- 2** おなかのチューブのつなぎ目を下の溝の赤い線にあわせて入れる。絵にあわせて保護チューブを上の方の溝に入れる。



- 3** オレンジの溝(4か所)にチューブをしっかり押し込む。カバーを一度に下ろし、「カチッ」ととじる(自動的に接合開始)。



- 4** 接合が完了したらカバーをあけ、チューブを取り出し、引きはなす。つなぎ目を開通し、液もれがないことを確認する。



- 5** むきんイージーの電源を切り、カバーをとじる。充電状態を確認する。ウェハーは各自治体のルールに従って捨てる。

排液後は排液に異常がないか必ず確認してください

排液用バッグの重さをはかり、記録ノートに記入する。



一回の除水量は、
今回の排液量から前回の注液量を差し引いた値です。

除水量 = 今回の排液量 - 前回の注液量

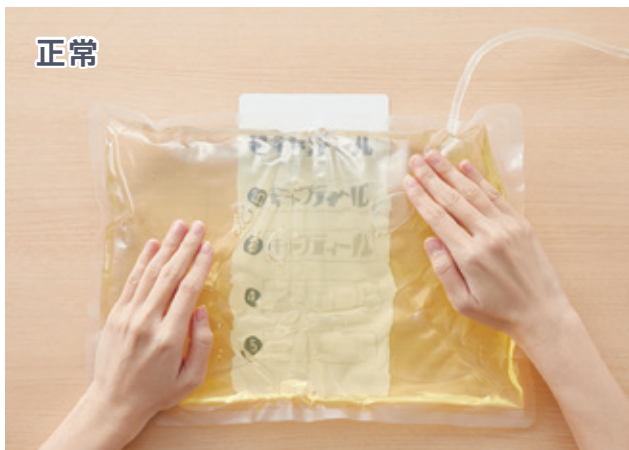


参考 1000mL SL-W : 約1200g
1500mL SL-W : 約1700g
2000mL SL-W : 約2250g
2500mL SL-W : 約2800g

注意 排液用バッグの落下及び取扱いに十分注意する。
破損する可能性がある。

排液の状態を、下記のチェックリストを見ながら確認し、記録ノートに記入する。

正常



にごり



チェックリスト ※注意深く観察！

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 澄んでいる | ☐ フィブリンがない |
| ☐ にごりがない | ☐ 沈殿物・浮遊物がない |
| ☐ 血性になっていない | |



フィブリンが
浮遊している
イメージ

排液がにごっている場合は、排液は捨てずに保管し、かかりつけの医療機関に連絡する。
あらかじめ医師の指示がある場合は、その指示に従ってください。



延長チューブをつなぐときは、おなかのチューブと入れ方を確認してください

おなかのチューブの**おなか側のつなぎ目**を下の溝の赤い線にあわせて入れる。
絵にあわせて延長チューブを上の方の溝に入れ、しっかり押し込む。



警告

おなかのチューブの接続チューブ内面に白色の付着物があったり、チューブが硬くなっている場合は、かかりつけの医療機関に連絡すること。延長チューブをつなぐ際、接合不良を起こし、腹膜炎になる可能性がある。(取扱説明書の5～6ページ参照)

取扱い上の注意

〈誤った操作時の対処方法〉

- ・ 透析液バッグの仕切り部分(隔壁)を開通せずに使用した

対処方法

ただちに排液し、かかりつけの医療機関の指示に従ってください。

- ・ 透析液バッグの破れや液もれに気づかず使用した

対処方法

ただちにかかりつけの医療機関に連絡し、指示に従ってください。

※腹膜炎になる可能性があります。

排液をする、薬をのむ、受診するなどかかりつけの医療機関の指導に従ってください。

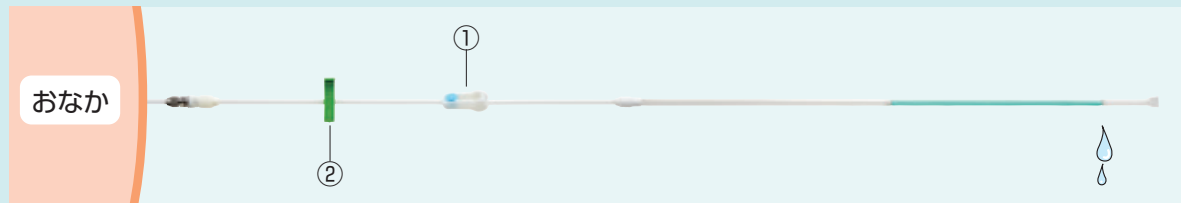
〈接合不良時の対処方法〉

- ・ おなかのチューブのつなぎ目(接合部)から液がもれた、穴あきがあった

対処方法

通液しないで、操作を中止し、かかりつけの医療機関の指示に従ってください。

操作の中止方法



① ただちにおなかのクランプをとじる。または、とじているか確認する。

② おなかのクランプよりおなかに近いところをプラスチッククランプ(緑)で止める(または、2か所しぼる)。

※液もれ、穴あき、切り離した部分は、消毒液(ポビドンヨード液など)を含ませた滅菌ガーゼで包み、ビニール袋などでおおって保護する。

⚠ 使用しないこと。

※ そのまま使用すると腹膜炎になる可能性があります。

※ 薬をのむ、受診するなどかかりつけの医療機関の指導に従ってください。

〈接合中に故障したときの対処方法〉

- ・ 接合動作を開始した後、「故障」ランプが点灯し、装置が故障した。
- ・ すべて消灯し、装置が停止した。

対処方法

装置のカバーはとじたまま、〈接合不良時の対処方法〉の①②を行い、速やかに医療機関に連絡し、指示を受けてください。あらかじめ医療機関の指示がある場合は、その指示に従ってください。カバーのロックを解除する場合は、あらかじめ医療機関の指導を受けてください。

わからないことがありましたら、医療機関にお問い合わせください。

一般的名称：腹膜灌流液注排用チューブ及び関連用具セット 販売名：キャプディール TSCDトランスファーチューブセット 医療機器承認番号：20600BZZ00239000

一般的名称：腹膜灌流用回路及び関連用具セット 販売名：キャプディール TSCD 交換キット 医療機器承認番号：20600BZZ00238000

一般的名称：腹膜灌流回路用加熱溶解融接装置 販売名：むきんイーザー 医療機器届出番号：13B1X00101000088

※仕様は一部変更することがあります。

©テルモ株式会社 2023年3月作成
22T475-1SZ3SZ2303

TERUMO

製造販売業者 テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 www.terumo.co.jp